2025年12月期
決 算 説 明 資 料

2026年3月13日

六甲バター株式会社

（証券コード：2266）

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

1. 会社概要
2. 2025年12月期の振り返り
3. 2026年12月期の計画
4.ビジョン2030・中期経営計画2027
5. Appendix

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

会社名	六甲バター株式会社
英文表記	ROKKO BUTTER CO.,LTD.
本社所在地	神戸市中央区坂口通1丁目3-13
設立年月日	1948年12月13日
資本金	28億4,320万円
上場区分	東証プライム市場
従業員数	489名（2025年12月末現在）
代表者	代表取締役社長兼CEO　塚本浩康

Copyright© 2026　ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

ブランド力×企画開発力×事業基盤＝六甲バター

信頼と安心のQ·B·Bブランド

- Q·B·B=Quality's Best&Beautiful
  ⇒おいしい品質へのこだわり
- 国内トップブランドとして抜群の知名度
  ⇒家庭用の他、学校給食や業務用でも幅広く商品展開
- 家庭用プロセスチーズ国内購買金額シェア15年連続No.1
  ⇒ベビーチーズシェア約6割・年間出荷2億本以上 (＊2)

(＊1)

(*1)インテージSCI プロセスチーズ市場 2011年1月～2025年12月 各年購買金額シェア
(*2)インテージSCI ベビー4P市場 2011年1月～2025年12月 購買シェア

おいしいって、生きること。
Q·B·B

独創的な商品企画・開発力

- 多数の世界初・国内初の商品開発実績
  ⇒スティックチーズ・個包装スライスチーズ等
- 常に二ーズの先取りを追求する開発体制
  ⇒「チーズデザート」・「包み」等オリジナリティ溢れる商品を市場投入
- 「開発先導型活力企業」を標榜
  ⇒新たな価値の創造に挑戦

「開発先導型活力企業」
六甲バターでは「社員一人ひとりが変革にチャレンジし、新しい考え方や新しいやり方を取り入れていくことで、活力に満ちあふれた会社」を目指す姿と考えています。

確固とした事業基盤

- 戦略的投資を可能とする強固な財務基盤
  ⇒純資産額333億円・自己資本比率54.7%(2025年12月末時点)
- 安定した流通網・取引基盤
  ⇒「いつでも、どこでも、誰でも」食べられる社会の実現を目指す
- 「六甲バターフィロソフィ」の実践

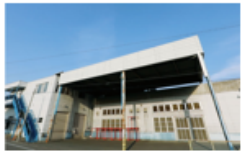
「六甲バターフィロソフィ」
六甲バターでは、経営の判断基準や行動指針を「六甲バターフィロソフィ」として体系化していますが、その中で「全従業員の物心両面での幸福追求」を大切な価値として掲げています。

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

【当期トピックス】ミツヤグループの完全子会社化により連結決算へ

株式会社ミツヤ

【会社概要】
商号　株式会社ミツヤ
代表者　代表取締役 原田 耕次
創業　昭和23年6月
設立　昭和38年9月
資本金　3,000万円
従業員数　328名
事業内容　豆菓子 ナッツ類製造・販売
製菓原料製造・販売
所在地　福岡県福岡市南区



千成堂 SENNARIDO

【会社概要】
商号　株式会社千成堂
代表者　代表取締役 原田 耕次
創業　昭和22年
設立　昭和59年
資本金　1,000万円
従業員数　56名
事業内容　ピーナッツ 木の実
豆菓子の製造販売
所在地　熊本県上益城郡益城町

乳山三矢食品有限公司　日本向けピーナッツ加工事業

長年当社ナッツ事業
OEM先として
信頼関係を構築

おいしいって、生きること。
Q·B·B

ミツヤグループ
高品質な豆菓子・ナッツ
を西日本・BtoC中心に展開
OEM含め国内上位のシェアを誇る

＋

六甲バター株式会社
Q・B・Bナッツ事業を展開
全国販売網・経営資源・ブランドの共有

シナジー・価値創造

- 当社ナッツ事業との融合
- 販売エリアの拡大
- 海外輸出・インバウンド需要
- BtoB展開
- 事業効率化・経営基盤強化

■2025年11月に株式会社ミツヤグループ本社の発行済株式の51%を追加取得し、ミツヤグループ（株式会社ミツヤグループ本社・株式会社ミツヤ・株式会社千成堂）を完全子会社化→六甲バターは2025年第4四半期より連結決算に移行しました

■シナジー発揮に向け、商流の変更（家庭用ナッツ事業をミツヤグループに一本化）、商品ブランドの統一に着手

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

【当期トピックス】ベトナム製造現法（QBBアジア）設立

2025年 第1フェーズ：会社設立
2025年11月18日
QBBアジア　設立

2026年 第2フェーズ：工場建設
2026年下期
工場着工予定

2027年 第3フェーズ：生産開始
2027年下期
生産開始予定

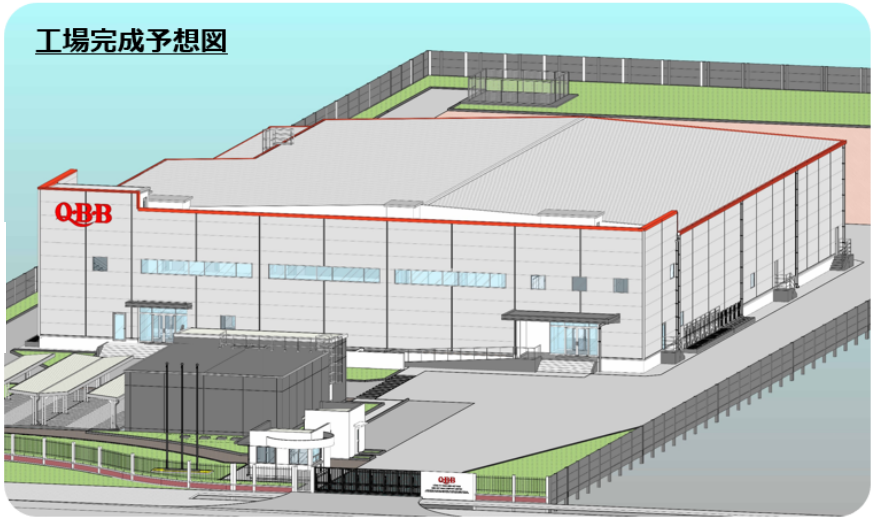
工場建設場所：

ベトナム ドンナイ省
AMATAシティロンタン工業団地

工場規模：

延床面積　約4，500㎡（一部2階建て）

工場完成予想図



■海外事業強化の一環として、2025年11月ベトナムドンナイ省に製造現法（QBBアジア）を設立（資本金：VND220,236,000,000≒約13億円）

■2027年の生産開始に向け順次準備作業進行中

Copyright© 2026　ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

～第55回食品産業技術功労賞(*) 受賞、他メディアに掲載 ～

「ひとくちチーズデザート あまおう®苺」の反響・評判の高さが評価

ひとくちチーズデザート
あまおう®苺

ひとくちチーズデザート
シャインマスカット

(*)食品産業技術功労賞【 商品・技術部門 】:卓越した技術により、我が国の食生活の向上、食品産業の発展に貢献した商品の開発、技術の開発を行なった企業または個人、団体を表彰する部門。

- QBB『「包み」シリーズ』が、食品産業新聞社主催の第55回食品産業技術功労賞を「商品・技術部門」で受賞いたしました。2025年3月から発売している「ひとくちチーズデザート あまおう®苺」の反響・評判の高さから、新しい提案で市場創造に貢献したと評価されての受賞となりました。
- その他、日経トレンディにも25年の食品・外食部門のヒット商品として紹介されるなど雑誌を含むメディアにも掲載されました。

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

1. 会社概要

2. 2025年12月期の振り返り

3. 2026年12月期の計画

4.ビジョン2030・中期経営計画2027

5. Appendix

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

当社は2025年12月期第4四半期より連結決算に移行しましたが、当期は連結初年度の変則的な決算となるため単体ベースでの前期比較をおこなっております

前期比増収減益・計画比減収増益

売 上 高 ：432億円(前期比+3億円・計画比▲2億円)

営業利益：　14億円(前期比▲4億円・計画比＋4億円)

売上高

■原料高・円安を踏まえ2025年4月に再度の価格改定を実施
■物価高の影響で低迷した販売数量も年度後半回復傾向となったが、計画した水準には一歩及ばず

営業利益

■値上げによって利益率は改善されるも、万博出店に伴う費用負担等で前期比減益
■一方で、物流費低減努力や為替ヘッジ効果等で計画比では増益を実現

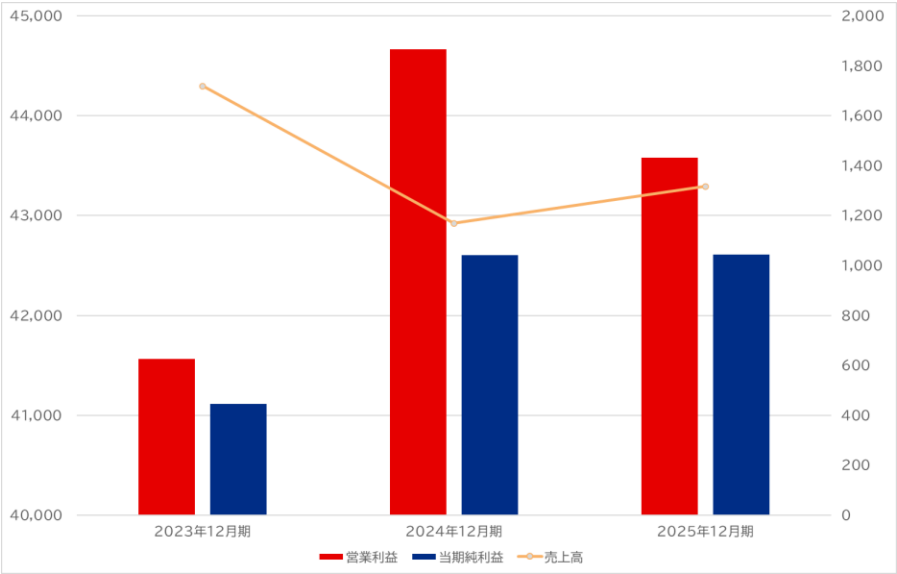
Copyright© 2026　ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

2025年12月期業績(単体)

(百万円)

	2024年12月期 通期実績(単体)	2025年12月期 通期計画(単体)	2025年12月期 通期実績(単体)	対前年増減額	対前年増減率	対計画増減額	対計画増減率
売上高	42,924	43,500	43,293	+369	+1%	▲ 207	▲0%
営業利益	1,865	1,000	1,432	▲ 433	▲23%	+432	+23%
経常利益	1,957	900	1,396	▲ 561	▲29%	+496	+25%
当期純利益	1,041	600	1,044	+3	+0%	+444	+43%
売上高営業利益率	4.3%	2.3%	3.3%				
一株当たり配当金	20円	20円	20円				

(売上高・百万円)　(利益・百万円)



営業外損益主な増減要因(前期比)

・為替差益▲137百万円

特別損益主な増減要因(前期比)

・関係会社株式評価損▲306百万円

・建物解体費用引当金繰入▲224百万円

(青字:利益、赤字:損失・費用)

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

2025年12月期商品別売上実績（単体）

（百万円）

	2024年12月期 通期実績（単体）	2025年12月期 通期計画（単体）	2025年12月期 通期実績（単体）	対前年増減額	対前年増減率	対計画増減額	対計画増減率
チーズ	41,942	42,325	42,102	+160	+0%	▲ 223	▲1%
ナッツ	636	750	641	+5	+1%	▲ 109	▲15%
デザート・その他	344	425	549	+205	+60%	+124	+29%
合 計	42,924	43,500	43,293	+369	+1%	▲ 207	▲0%

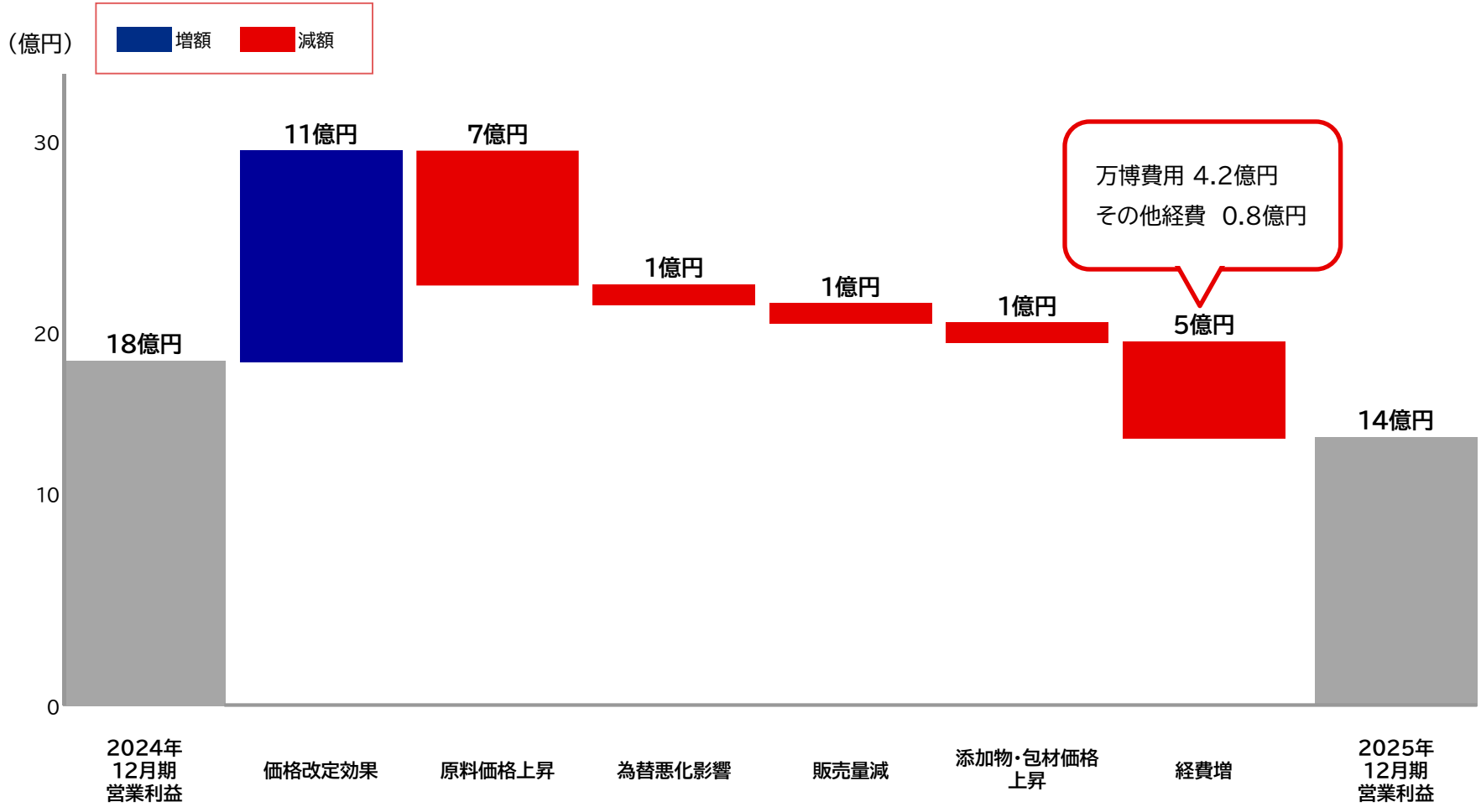
■主力のチーズ部門は価格改定効果で前期比で家庭用・業務用ともプラス実績であったが、物量回復が遅れ、計画比ではマイナス実績となった（家庭用：業務用の比率は8：2）

■ナッツは取扱商品の一部をミツヤグループに移管したことで、計画比マイナス

■デザート・その他部門の大幅プラスは万博出店による売上増が主な要因

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

■ 価格改定により原料価格上昇と為替悪化影響をカバーするも、万博費用等の経費増をカバーできず



Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

2025年12月期決算資産負債状況（単体）

（百万円）

資　産	2024年12月期（単体）	2025年12月期（単体）	増減
流動資産	24,889	26,484	+1,595
固定資産	26,513	29,118	+2,605
有形固定資産	19,461	18,093	▲1,368
無形固定資産	177	178	+1
投資その他資産	6,874	10,847	+3,973
資産合計	51,403	55,602	+4,199

負　債	2024年12月期（単体）	2025年12月期（単体）	増減
流動負債	19,013	18,572	▲441
固定負債	1,526	4,957	+3,431
負債合計	20,540	23,529	+2,989
純資産			
純資産合計	30,863	32,073	+1,210
自己資本比率	60.0%	57.7%	▲2.3%

【主な増減項目】

現金・預金▲3,514百万円
売掛金＋4,889百万円
（→大口帳合先の回収条件変更によるもの）
減価償却費▲1,918百万円
投資有価証券＋793百万円
（→期末評価増によるもの）
関係会社株式＋3,248百万円
（→ミツヤグループ本社株式取得、QBBアジア出資）

【主な増減項目】

短期借入金▲640百万円
（→既存運転資金シンジケートローン返済）
長期借入金＋2,640百万円
（→ミツヤ株式買取、QBBアジア出資資金借入）

Copyright© 2026　ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

(百万円)

	2025年12月期 通期計画(連結)	2025年12月期 通期実績(連結)	対計画増減額	対計画増減率
売上高	43,500	43,293	▲ 207	▲0%
営業利益	1,000	1,435	+435	+44%
経常利益	1,000	1,327	+327	+33%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,200	1,485	+285	+24%
売上高営業利益率	2.3%	3.3%		

■当初計画(2025年8月29日公表)との比較

■連結初年度のため売上高は合算せず、ミツヤグループ及びインドネシア関係会社(EMINA CHEESE INDONESIA)の持分法損益(49%)を営業外損益計上、ミツヤグループ子会社化に伴う負ののれん発生益及び段階取得による差損を特別損益計上

■通期実績が計画比減収増益であった要因は、六甲バター単体と同様

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

2025年12月期決算資産負債状況(連結)

（百万円）

資　産	2024年12月期（連結）	2025年12月期（連結）	増減
流動資産	-	32,065	-
固定資産	-	28,876	-
有形固定資産	-	21,909	-
無形固定資産	-	651	-
投資その他資産	-	6,315	-
資産合計	-	60,942	-

負　債	2024年12月期（連結）	2025年12月期（連結）	増減
流動負債	-	20,399	-
固定負債	-	7,217	-
負債合計	-	27,616	-
純資産			
純資産合計	-	33,325	-
自己資本比率	-	54.7%	-

【主な増減項目】

■ 連結初年度のため増減分析は実施せず

Copyright© 2026　ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

2025年12月期キャッシュフロー（連結）

（百万円）

	2024年12月期（連結）	2025年12月期（連結）	増減
営業活動によるキャッシュフロー	-	▲ 1,667	-
投資活動によるキャッシュフロー	-	▲ 2,173	-
財務活動によるキャッシュフロー	-	1,579	-
現金及び現金同等物の換算差額	-	▲ 3	-
現金及び現金同等物の増減額	-	▲ 2,265	-
現金及び現金同等物の期末残高	-	3,915	-

■ 連結初年度のため増減分析は実施せず

■ 営業活動によるキャッシュフローの主な内訳
売上債権増▲4,866百万円、減価償却費1,984百万円、税金等調整前当期利益1,922百万円

■ 投資活動によるキャッシュフローの主な内訳
定期預金預入▲870百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式取得▲826百万円

■ 財務活動によるキャッシュフローの主な内訳
借入金増2,000百万円、配当金支払▲389百万円

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

「事業成長」×「基盤強化」＝ 更なる企業価値向上へ

事業成長に向けて

■既存事業の高付加価値化追求

→家庭用プロセスチーズシェア26.5%
（目標27.0%に届かず）

→業務用製品販売裾野拡大（前期比＋1.2%）

■海外事業セクターの強化

→2025年11月QBBアジア設立

→海外向け販売は順調に成長中
（前期比＋12.3%）

■新規事業の成長促進

→2025年11月ミツヤグループ完全子会社化

→万博出店総提供食数28.8万食

～この経験を今後新たな展開に活かす

基盤強化に向けて

■高付加価値開発投資

→新基幹システム稼働準備（2026年より稼働）

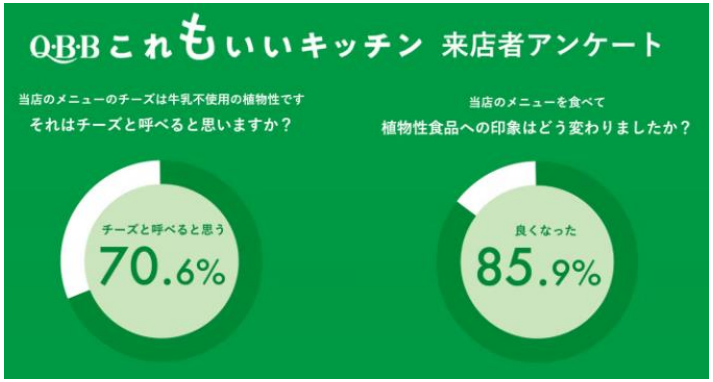
■高付加価値人材投資

→新たな人事・資格取得支援制度開始

■高付加価値経営投資

→2025年4月 旧稲美工場跡地について株式会社マルアイ店舗保有と事業用定期借地権設定予約契約を締結

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.



実査日：2025年8月6日･7日 サンプル数n=446
調査対象者：植物性チーズメニュー喫食者

・ALL植物性の万博レストラン『QBB これもいいキッチン』は、たくさんのお客様をお迎えすることができました。

・20万人以上(*1)のお客様がご来店。総提供食数は288,198食、うち植物性チーズ(*2)使用メニューは176,448食。たくさんの方々に植物性食品のおいしさを体験していただきました。

・来店者アンケートでは、植物性チーズ使用メニューを食べた方の7割が「これもチーズ」と回答。更に85%以上が「植物性食品への印象が良くなった」と回答。
当店での喫食体験は、お客様に新しい感覚をもたらしました。

・テレビや新聞、雑誌、webなど、様々な媒体で多数紹介され、「QBBの植物性チーズ」を大いにアピールでき、間接的・将来的な販促支援となりました。

*1 推計：会計数×1.5
*2 正しくは「チーズ代替植物性食品」

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

1. 会社概要

2. 2025年12月期の振り返り

3. 2026年12月期の計画

4.ビジョン2030・中期経営計画2027

5. Appendix

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

（百万円）

	2025年12月期 実績（連結）	【ご参考】 2025年12月期 実績（単純合算）	2026年12月期 計画（連結）	対前年増減額	対前年増減率
売上高	43,302	53,110	55,000	+1,890	+4%
営業利益	1,435	1,880	2,300	+420	+22%
経常利益	1,314	1,916	2,200	+284	+15%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,485	1,563	1,500	▲ 63	▲4%
売上高営業利益率	3.3%	3.5%	4.2%		

■2025年度は連結初年度の変則的な決算のため、参考値として2025年度におけるグループ各社決算を単純合算して2026年度計画との比較を実施

■主力のチーズ部門におけるプロモーションの一層の強化、ナッツ部門でのシナジー発揮本格化、海外部門の拡大等を通じ、全体として前期実績比増収増益を目指す

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

2026年12月期商品別売上計画（連結）

（百万円）

	2025年12月期 実績（連結）	【ご参考】 2025年12月期 実績（単純合算）	2026年12月期 計画（連結）	対前年増減額	対前年増減率
チーズ	42,102	42,102	44,400	+2,298	+5%
ナッツ	641	10,249	10,400	+151	+1%
デザート・その他	549	549	200	▲ 349	▲64%
合　計	43,293	52,900	55,000	+2,100	+4%

■2025年度は連結初年度の変則的な決算のため、参考値として2025年度における
グループ各社決算を単純合算して2026年度計画との比較を実施

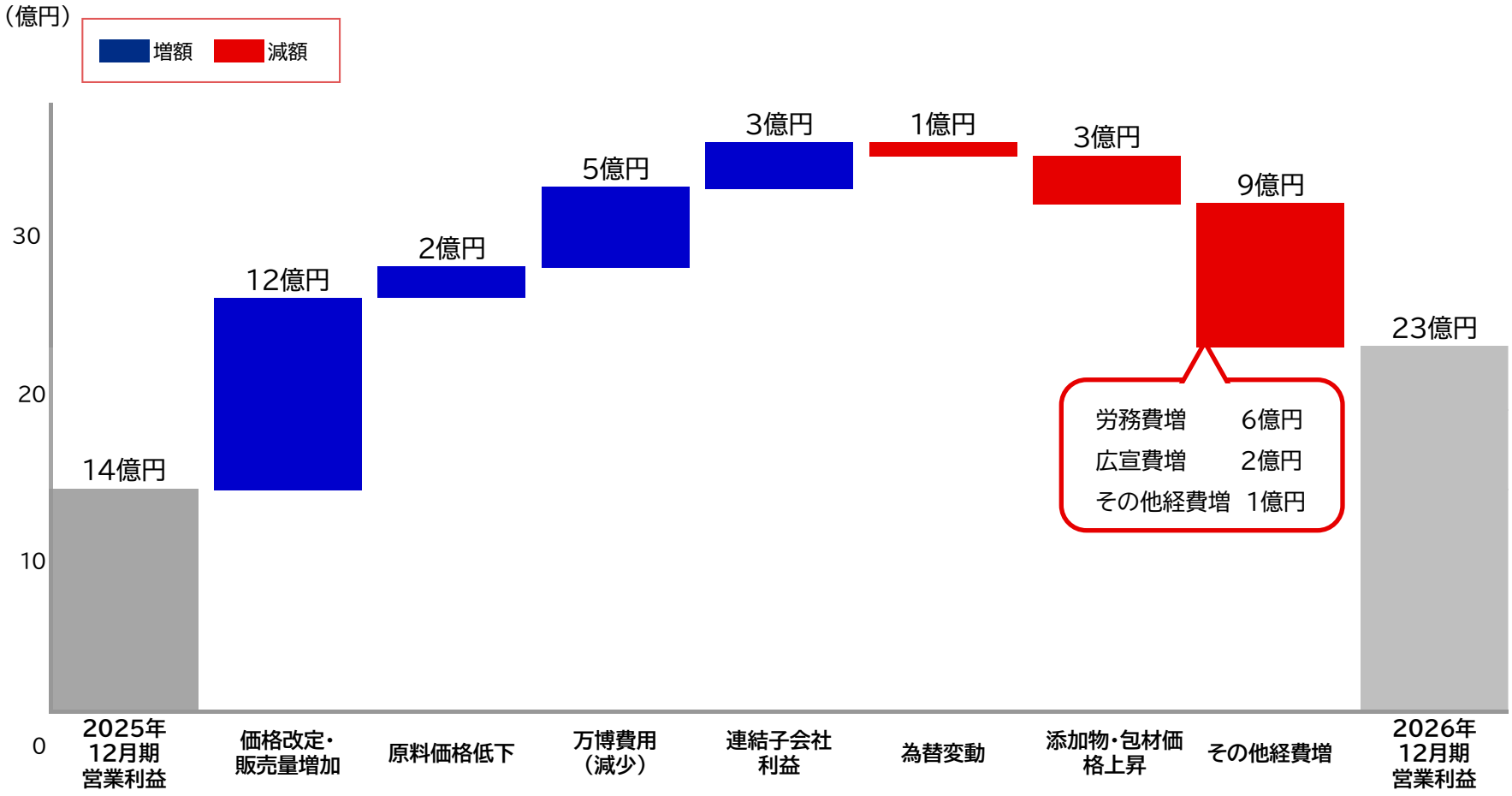
■チーズ部門はプロモーション強化を通じた物量の増加に加え、前年度実施の価格改定効果継続もあることから、家庭用・業務用とも増収を計画

■ナッツ部門はブランド・商流の統合、海外販路強化等のシナジー効果により前期比実質増収を計画

■デザート・その他部門は万博売上が無くなるため前期実績比減収で計画

Copyright© 2026　ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

■価格改定の残効果と物量の回復に加え、足許原料価格の低下等も加味して前期比増益を計画
■万博費用負担は無くなるが、プロモーション強化の一環で広告宣伝費を増額する



Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

【株主配当】

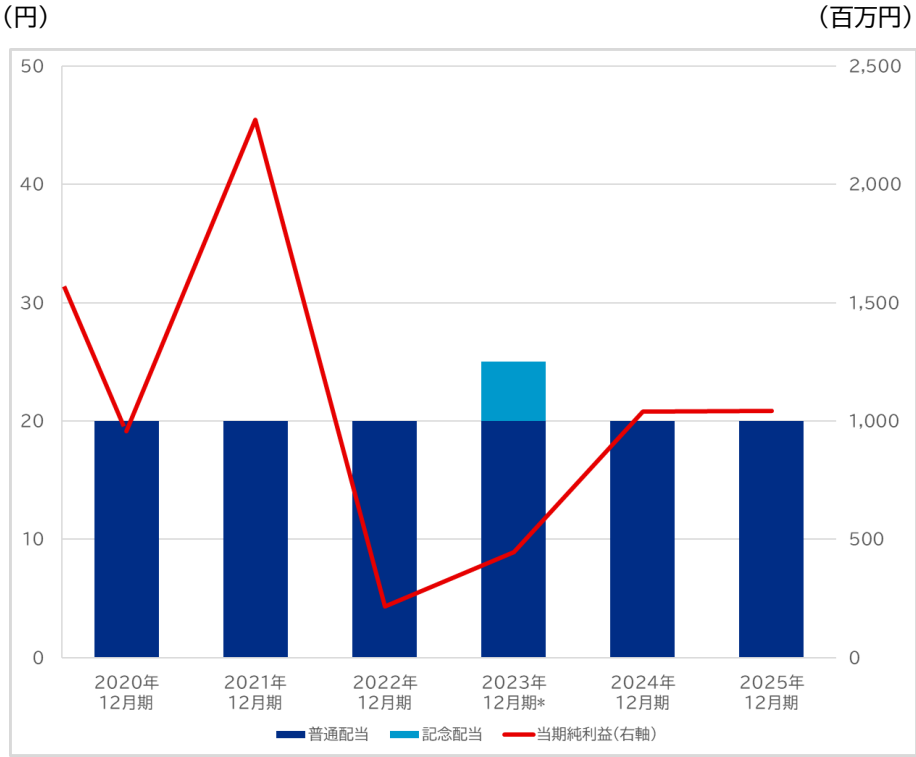
■ 2025年12月期は1株当り20円の普通配当を実施予定

【自己株式取得】

■ 自己株式取得については足許の株価動向等を総合的に勘案し2025年度も実施せず

2026年度の株主還元拡大については、企業価値の更なる向上の観点から今後の業績推移等を見ながら柔軟に検討していく

当期純利益推移と配当実施状況



*100期決算記念として1株当り5円の記念配当を実施

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

おいしく健康ベビー
シャキッと果実　パインミックス

おいしく健康ベビー
つぶっと果実　ベリーミックス

チーズデザート6P
いちごのショートケーキ

Copyright© 2026　ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

トイ・ストーリー
まるいチーズ

チーズinスライス
CHEASY7枚入

チーズinとろけるスライス
CHEASY7枚入

やわらか熟成6P

ブルーチーズ入り6P

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

1. 会社概要

2. 2025年12月期の振り返り

3. 2026年12月期の計画

4.ビジョン2030・中期経営計画2027

5. Appendix

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

◆2024年6月に「ビジョン2030・中期経営計画2027」をリリース

① 2030年になりたい姿＝高付加価値創造企業であることを宣言

② 2027年までの3か年を第1ステージとして数値目標を設定

代表取締役社長 兼CEO
塚本　浩康

「2030年　六甲バター株式会社は高付加価値創造企業へ」

収益と投資の好循環を実現
高付加価値創造企業への変革

六甲バター株式会社は、経営理念「健康で、明るく、楽しい食文化の提供によって社会に貢献する」の実現のため、ビジョン「世界一のプロセスチーズメーカーを目指す」に向かい、日々企業活動を行っております。
この度、当社はそのマイルストーンとして、中長期経営方針「ビジョン2030」、第1ステージ「中期経営計画2027」を策定し、経営理念・ビジョン実現への方針と実施計画を決定いたしました。
このビジョン2030は「事業成長方針」と「基盤強化方針」で構成されております。この2軸の方針（収益と投資）の好循環を中期経営計画で実行に移し、2030年に向けて『高付加価値創造企業』への変革と、持続的な収益拡大・企業価値向上を実現してまいります。

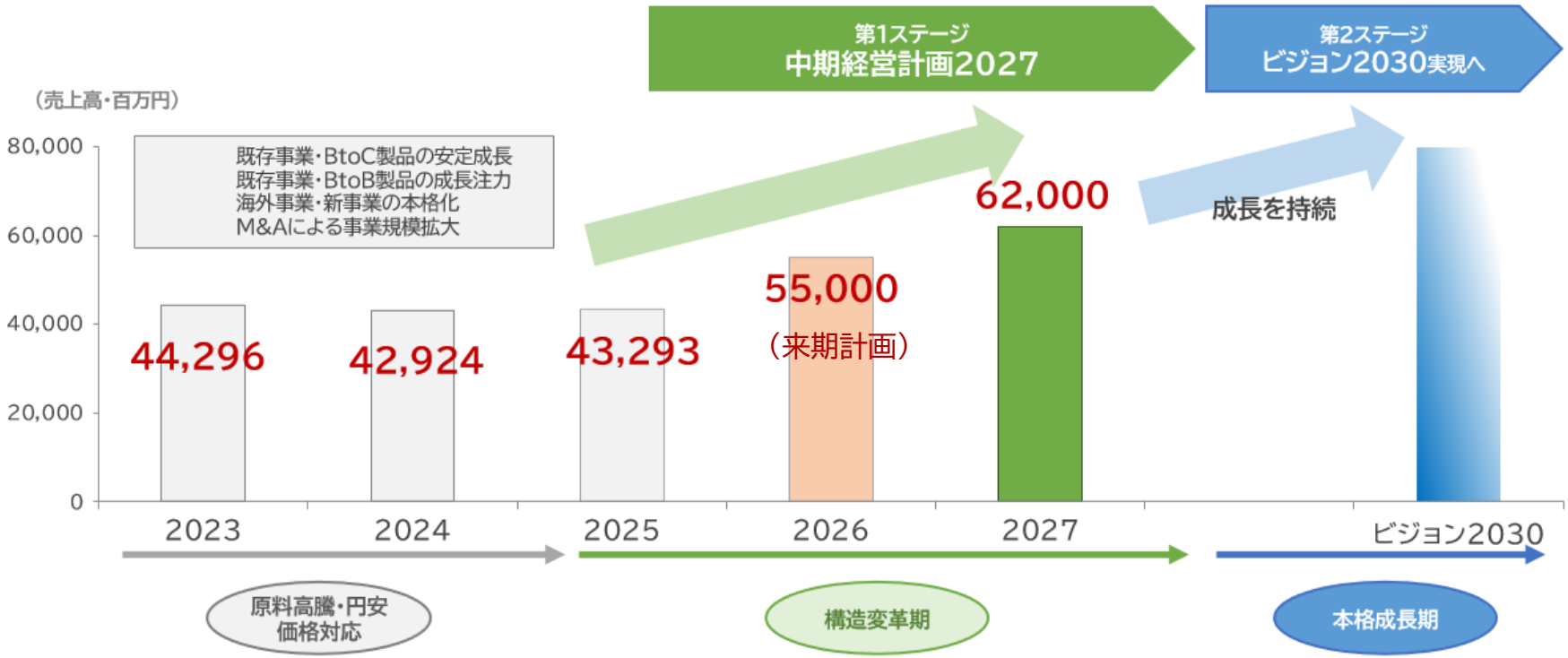
中長期経営方針　ビジョン2030概念図

ステージの位置づけと戦略構成

	第1ステージ 中期経営計画2027	第2ステージ
期間	2025年－2027年	2028年－2030年
位置づけ	投資開始・構造変革期	本格成長期
方針実行 戦略構成	【事業成長戦略】 ① 既存事業成長戦略 ② 海外事業成長戦略 ③ 新事業成長戦略	【基盤強化戦略】 ① 高付加価値開発投資 ② 高付加価値人材投資 ③ 高付加価値経営投資

Copyright© 2026　ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

中期経営計画2027 売上高目標



◆中期経営計画第1ステージの最終年度（2027年12月期）売上目標を620億円に設定

◆既存事業（BtoC、BtoB）・海外事業・新事業（植物性商品等）の各部門の拡大に加え
M&Aを通じた事業規模拡大も視野

◆ミツヤグループ子会社化により2026年度の売上は550億円を計画
→中計計画達成に向け、M&Aも含めた各事業部門の更なる拡大強化を図る

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

◆中期経営計画第1ステージの最終年度（2027年12月期）営業利益目標を43億円、ROE目標を8%以上に設定

◆目標達成に向け、高付加価値投資に重点的に経営資源を配分

◆収益環境の変化により中計初年度の利益実績は計画比で非常に厳しい内容
→高付加価値投資の加速等を通じ中計目標の早期キャッチアップを図る

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

1. 会社概要

2. 2025年12月期の振り返り

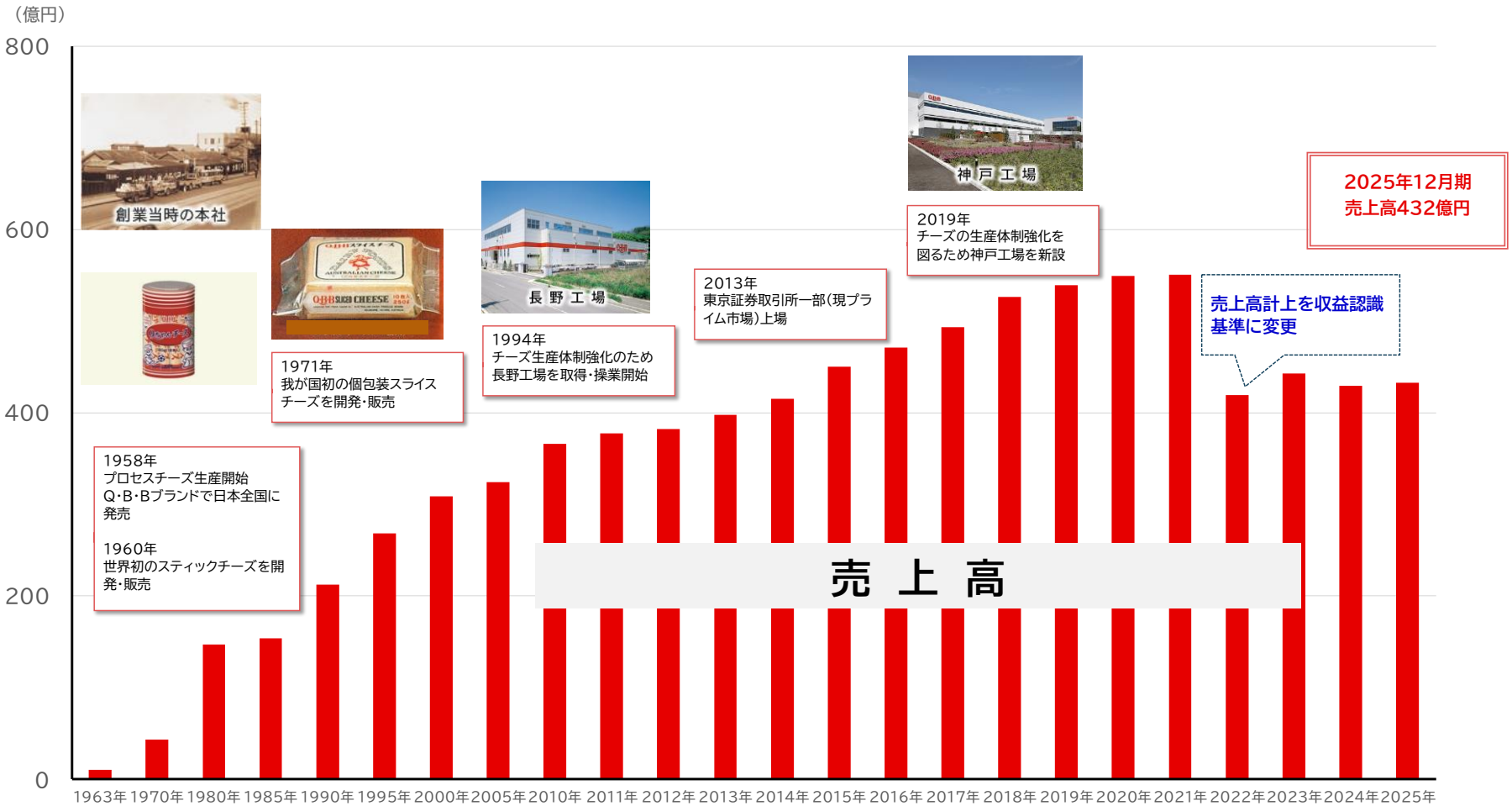
3. 2026年12月期の計画

4.ビジョン2030・中期経営計画2027

5. Appendix

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

「世界一のプロセスチーズメーカー」を目指して



Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

【ご参考】業績推移

（百万円）

	2016年12月期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期
売上高(*)	47,115	49,374	52,672	53,947	54,948	55,073	41,924	44,296	42,924	43,293
売上原価	24,863	26,359	29,155	31,887	32,487	32,180	35,452	37,589	34,619	34,903
粗利益	22,251	23,014	23,517	22,059	22,460	22,892	6,471	6,706	8,305	8,390
売上高粗利益率	47.2%	46.6%	44.6%	40.9%	40.9%	41.6%	15.4%	15.1%	19.3%	19.4%
販売管理費	17,054	18,143	19,159	19,825	20,520	20,526	6,126	6,079	6,439	6,955
営業利益	5,197	4,871	4,358	2,234	1,940	2,366	345	626	1,865	1,435
売上高営業利益率	11.0%	9.9%	8.3%	4.1%	3.5%	4.3%	0.8%	1.4%	4.3%	3.3%
営業外収益	72	82	95	96	71	217	224	212	337	201
営業外費用	63	67	129	149	344	352	210	186	242	309
経常利益	5,205	4,886	4,324	2,181	1,667	2,232	359	652	1,959	1,327
売上高経常利益率	11.0%	9.9%	8.2%	4.0%	3.0%	4.1%	0.9%	1.5%	4.6%	3.1%
当期純利益	3,431	3,330	2,935	980	956	2,271	219	446	1,050	1,485
売上高当期純利益率	7.3%	6.7%	5.6%	1.8%	1.7%	4.1%	0.5%	1.0%	2.4%	3.4%

*2022年12月期より収益認識基準適用

*2025年12月期より連結決算実施

Copyright© 2023 ROKKO BUTTER CO.,LTD.All Right Reserved.

【ご参考】六甲バターの歴史（詳細版）

1948年12月	平和油脂工業株式会社として創立（12月13日/資本金200万円） 当初は農林省指定のマーガリン製造工場で製品は全て農林省に納入
1954年7月	六甲バター株式会社と社名を変更
1958年11月	**オーストラリアから輸入した原料チーズでプロセスチーズを生産　Q･B･Bブランドで日本全国に発売**
1959年11月	**三菱商事株式会社と取引が成立、当社チーズの販売網拡大**
1960年10月	**世界で最初のスティックチーズを開発、発売**
1963年5月	大阪証券取引所第2部に上場（資本金1億円）
1965年2月	東京都中央区日本橋に社屋を新築し、東京支店を開設（現 東京支社）
1968年9月	稲美工場増築工事完成　月産1,000トンの設備をもって稼動
1971年12月	**我が国で最初に個包装のスライスチーズを開発、発売**
1972年3月	Q･B･Bナッツでナッツ市場に参入
1982年6月	Q･B･Bレアチーズケーキを開発、発売
1985年3月	マドリードで行われた第24回モンドセレクションでレアチーズケーキ・スライスチーズ・ポコットチーズが金賞を受賞
1988年3月	ベークドチーズケーキを開発、発売
1989年12月	スイスのリンツ＆シュプルングリー社と日本における同社製チョコレート製品の輸入販売契約を締結
1994年12月	**チーズ生産体制の強化をはかるため長野工場を取得、操業開始**
2000年11月	ISO9001を認証取得
2001年8月	ISO14001を認証取得
2012年12月	大阪証券取引所　第1部上場
2013年7月	東京証券取引所　第1部上場
2019年2月	**チーズの生産体制の強化をはかるため神戸工場を新設**
2019年5月	長野工場において、FSSC22000を認証取得
2020年9月	神戸工場において、FSSC22000を認証取得
2025年11月	**ミツヤグループを完全子会社化**
	ベトナム製造現法QBBアジア設立

Copyright© 2026　ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

皆様の健康と、ブランド価値の向上を目指して

東京マラソン2026 協賛

*(株)インテージSRI＋チーズ市場 2024年1月から12月累計販売個数

『東京マラソン2026』でチーズDE鉄分ベビーチーズのサンプリングを実施し、栄養補給の重要性を拡散すると共に大会スポンサーとしてランナーの心身の健康サポートへの取り組みを実施致しました。

実施時期：EXPO/2026年2月26-28日（木-土）
　　大　会/2026年3月1日（日）
実施内容：EXPO/ブースでの鉄分補給の重要性啓発と、商品サンプリング
　　大　会/フィニッシュ地点での商品サンプリング

Copyright© 2026　ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

プレミアムベビーチーズで『プレミアムな時間』を創出

J-WAVE TOKYO GUITAR JAMBOREE 2026 協賛

イベント協賛と「プレミアムベビーチーズ クリーミークリームチーズ」を来場者にサンプリングすることにより、豪華アーティストの音楽とともに『プレミアムな時間』創出をサポート致しました。

実施時期：2026年3月7-8日（土-日）
実施内容：会場でドリンク購入者を対象に、商品1個をサンプリング

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

～1ピースの、しあわせ～　新商品の認知拡大と、喫食シーン訴求を目指して

「チーズデザート6P」プロモーションイベントの実施

*イメージ

新商品「チーズデザート6P いちごのショートケーキ」の発売を記念し、東京有楽町で商品サンプリングを含むプロモーションイベントを実施致します。

実施時期：東京（有楽町駅前広場）/2026年3月28日（土）

実施内容：・商品サンプリングと、商品と相性の良い紅茶の試飲提供
・オリジナルグッズの当たるガチャの実施
・イベント告知を目的とした事前のSNSキャンペーンの実施　　等

Copyright© 2026　ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

～朝にチたす～　新商品の認知拡大と、喫食シーン訴求を目指して

「おいしく健康ベビー」プロモーション施策の実施

朝食においしく健康プラス！
朝にチーたす

「朝にチーたす」（朝食においしく健康プラス！）をキーワードに、食シーンに合わせた「おいしく健康ベビー」2商品のサンプリングを実施致します。

実施時期：2026年3月18日-4月18日　*商品なくなり次第終了
実施内容：全国の「カフェ・ド・クリエ」全店にてモーニングを注文の方を対象に、
新商品いずれか1個をサンプリング

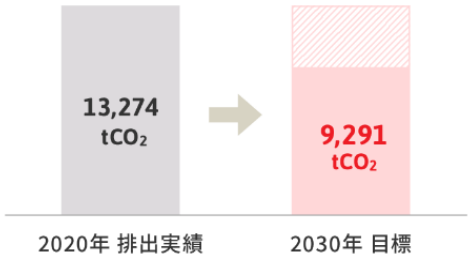
その他、タレントを起用したInstagramでの商品訴求告知を予定しています。

Copyright© 2026　ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

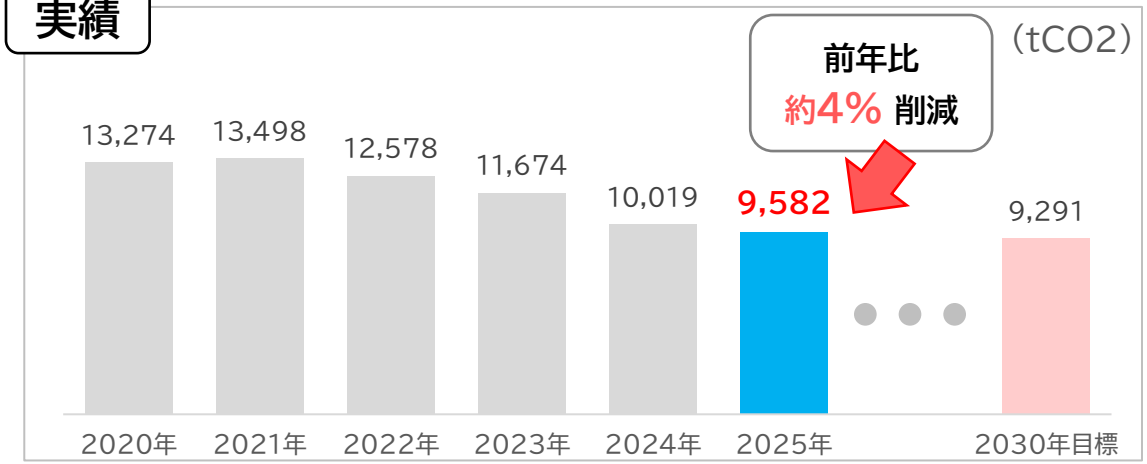
GHG排出量（SCOPE1・2）

目標

30%削減
（2020年度比）



実績

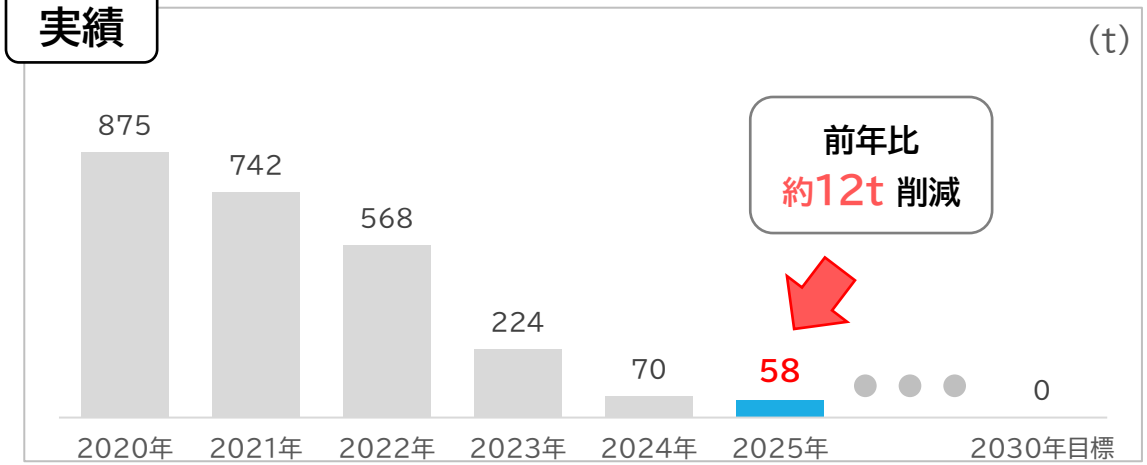


食品廃棄物量

目標

0
（リサイクル率100%）

実績



Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

在籍人数

（人）

	2021	2022	2023	2024	2025
全従業員数	759	768	759	759	785
男性	485	490	481	492	511
女性	274	278	278	267	274
うち外国籍の方	12	12	9	10	13

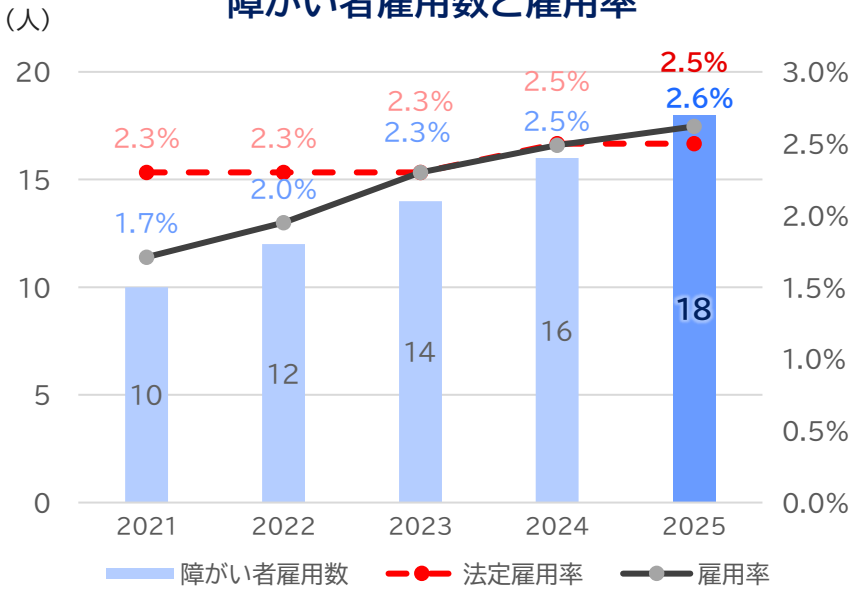
※全従業員数に派遣社員の方は含まれていません

女性管理職・リーダー数の割合

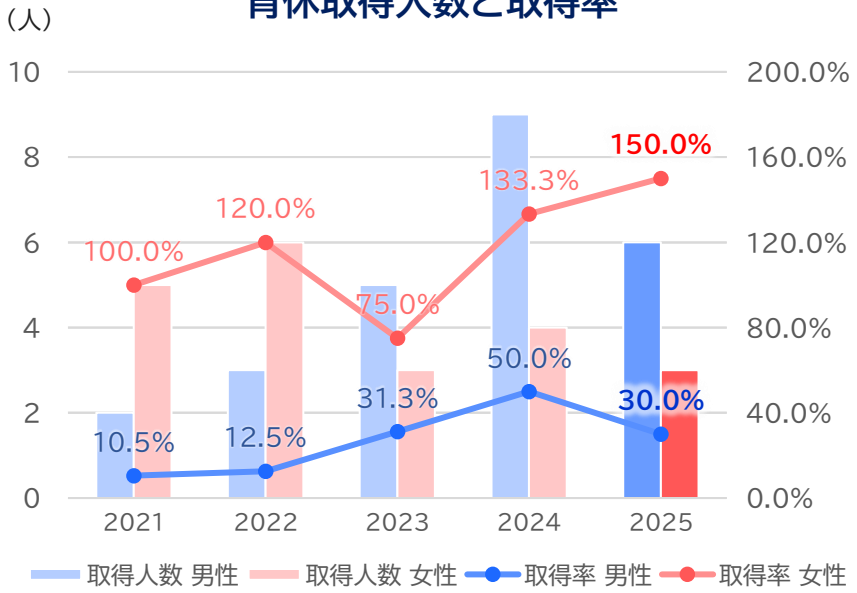
（人）

	2021	2022	2023	2024	2025
女性管理職	3	3	3	3	4
管理職数に占める割合	4.5%	4.4%	4.9%	5.1%	7.0%
女性リーダー	4	5	8	8	8
リーダー数に占める割合	3.3%	4.0%	6.3%	6.4%	5.5%

障がい者雇用数と雇用率



育休取得人数と取得率



Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

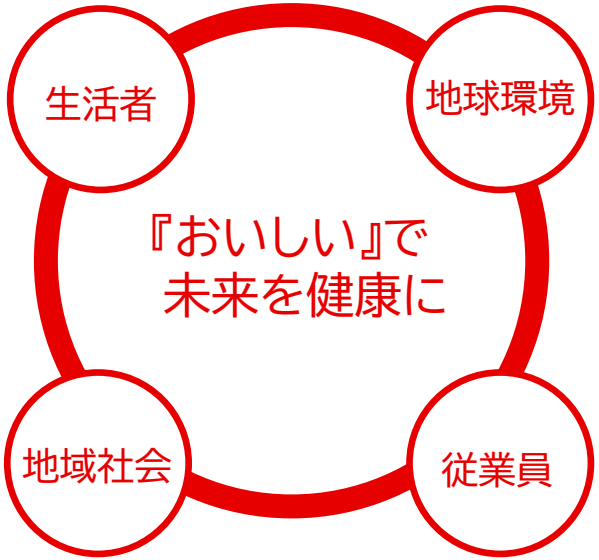
アクションプランの実行を通じ、「『おいしい』で未来を健康に」の実現を目指す

アクション 「いつでもどこでも誰でも食べられる社会の実現」

- 世界の子どもたちに栄養を提供
- みんなが食べられる「おいしい」の開発
- 海外へのプロセスチーズ文化の普及
- 新たな「おいしい」の開発

アクション 「豊かな自然環境を次世代へ」

- クリーンな工場から「おいしさ」を提供
- 工場からの廃棄物をなくす
- サプライチェーンで協力して、「おいしさ」を無駄にしない
- 環境にやさしい包材で無駄のない包装に



アクション 「住み続けたい地球に向けて」

- 給食を通じて、地域社会に貢献
- イベント・支援事業などを通じて、地域社会に「おいしい」を伝道
- 非常時、地域との深い連携

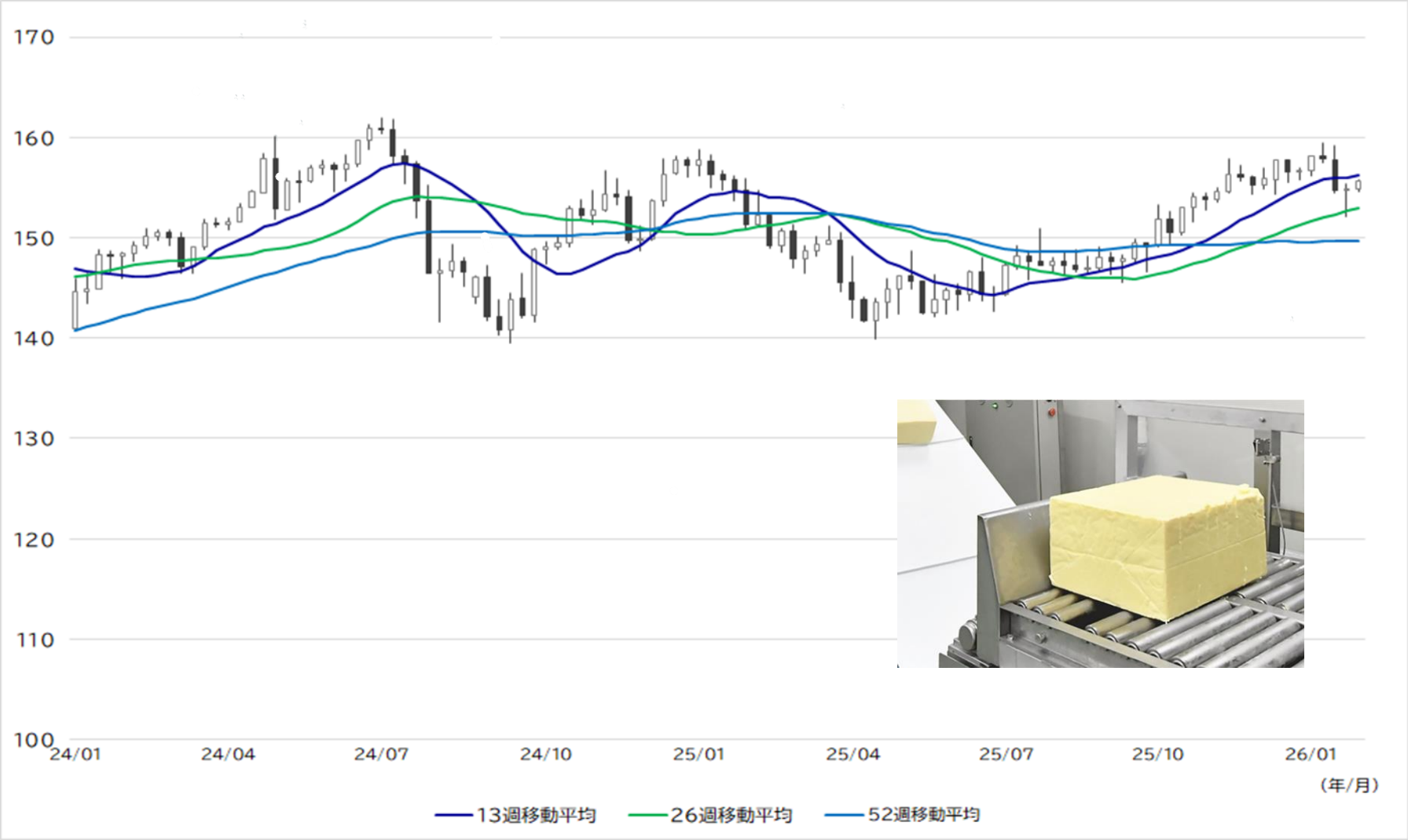
アクション 「ここで働く人みんなを幸せに」

- 先端技術を活用し、必要な人財を必要な場所へ
- 社内教育・制度の充実
- 時代に合わせ、多様な働きかたへの対応を

Copyright© 2023 ROKKO BUTTER CO.,LTD.All Right Reserved.

USドル/円為替相場推移

（USD/円）

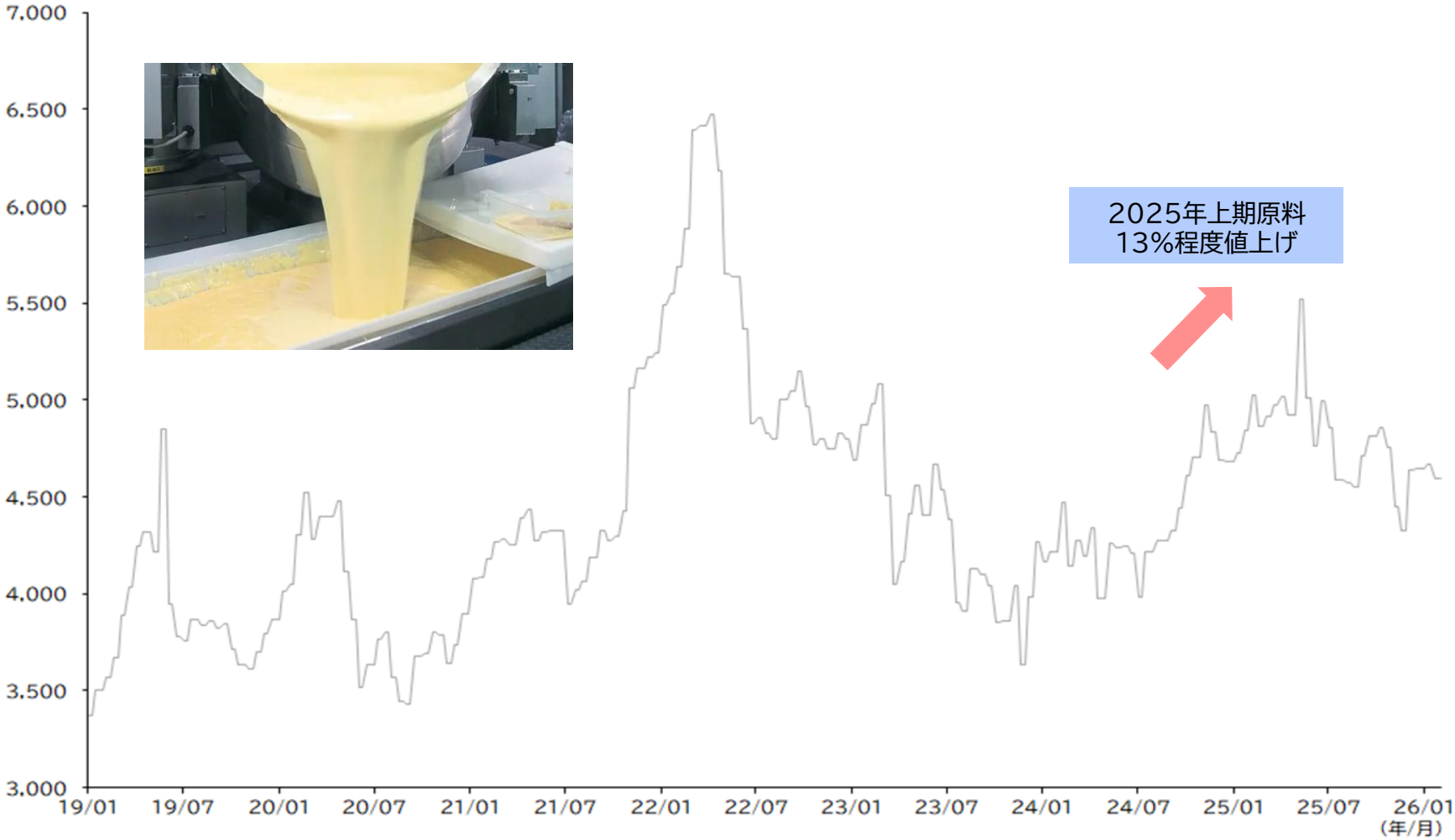


出所：QUICKのデータをもとに当社作成

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

チーズ原料価格推移（GLOBAL DAIRY TRADE チェダーチーズ価格）

（USD/トン）



出所：Bloombergのデータをもとに当社作成

Copyright© 2026 ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.

おいしいって、生きること。

Q·B·B

「2030年　六甲バター株式会社は高付加価値創造企業へ」

- 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定はご自身でご判断をお願いします。
- 本資料に記載された業績計画などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。

Copyright© 2026　ROKKO BUTTER CO.,LTD. All Rights Reserved.